

指定管理者制度導入施設の将来ビジョン

施設名	大分スポーツ公園及び高尾山自然公園
所在地	大分市大字横尾
県の所管部局(課・室)	土木建築部公園・生活排水課
設置年月日	【大分スポーツ公園】平成13年5月24日(設置から20年10か月) 【高尾山自然公園】昭和61年4月1日(設置から36年)※令和4年4月1日現在
設置目的	県民のスポーツ振興及び健康増進を目的として設置。
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

【検討結果】

施設の今後のあり方

存続 (利活用)	存続 (整理統合)	廃止
理由	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツやイベント等を体験・共感・感動し、自然と調和しながら県民に愛される公園を目指す。 ●大分スポーツ公園は、「スポーツ文化の創造」を図るための中核的施設であり、競技力向上にも資する国内有数の総合競技場で、全国・国際大会が開催できる施設であるとともに、大規模災害時における広域防災拠点である。 ●高尾山自然公園は、「憩いの場」として都市近郊にある大規模自然公園であり、森林環境を保護・保全しながら、多くの県民が自然に親しんでおり、「日本の都市公園100選」にも選ばれている 以上の理由から「存続」と判断する。	
管理方法の検討	以下の理由により、今後も「指定管理者制度」を継続する。 ①Jリーグ年間27試合を行う総合競技場やサッカー・ラグビー場などの芝生管理業務、施設利用に関する業務など、多数かつ大規模の維持管理業務が必要であり、県直営では施設管理が極めて難しい。 ②広報・宣伝業務、行事・大会開催の誘致活動など、民間企業のノウハウを活用していくメリットが大きい。	

ビジョンの設定期間

ビジョンの設定期間	令和5年度～令和14年度
次回策定(中間見直し)	令和9年度(令和10年度～令和14年度)
次回指定管理者公募予定	令和5年度8月

存続の場合

1. 目指すべき施設像及び利用者像等

施設像	<ul style="list-style-type: none"> ●全国的・国際的なスポーツ大会の開催や、規模を活かした競技力向上に資する施設【スポーツ公園】 ●憩いの場であるとともに、自然に関する体験学習も行うことができる自然公園【高尾山自然公園】 ●大規模災害時に現地調整機能や救援物資の集積・輸送の機能を有する施設【スポーツ公園】 		
利用者像	<ul style="list-style-type: none"> ●全国大会の参加者など、競技力向上を図るアスリートや健康づくり・体力増進を図るあらゆる年代層【スポーツ公園】 ●ウォーキングや展望台からの眺望を楽しむ近隣住民や、自然に関する学習会に参加する方【高尾山自然公園】 		
定量的目標達成指標	①	年間利用者数の増	1,200,000人/年(～R14年度) (過去3年平均: 853,993人/年) (参考 H30実績: 1,199,995人/年) 【スポーツ公園・高尾山】
	③	利用者満足度の維持	85% (R3～R1の平均値・・・83.8%) 【スポーツ公園・高尾山】
定性的目標達成指標	①	全国的、国際的なスポーツ大会を開催するため、誘致活動の実施や施設・設備を適正に管理する。 【スポーツ公園】	
	②	誰もが安全に、安心して利用できる施設とするため、施設の改善やサービス向上の取組みを実施する。 【スポーツ公園・高尾山】	

2. 目指すべき像を達成するための課題とその解決策、実施方法・実施時期（解決への優先順に記載）

課題1	人口減少・少子高齢化に関する課題（必須）
人口減少・少子高齢化が進む中、単発的な大会利用などでは、利用者の減少が懸念される。	
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会の開催誘致や学校行事の開催を推進する。 ・施設情報を幅広く周知する。
実施方法・実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・全国、国際スポーツ大会の誘致に引続き取り組み、利用団体に対してアンケートによるニーズ調査や次年度の利用案内、仮申込書の送付を行うなど、継続利用を促進する。【スポーツ公園】 ・体育大会やクラスマッチなど、学校行事の開催を推進する。【スポーツ公園】 ・近隣の学校や福祉施設などへの施設情報マップ配布や、SNSでの情報発信により、利用を促進する。【スポ公・高尾山】

（参考）	令和4年度(2022年度)	令和12年度(2030年度)	令和27年度(2045年度)
予測利用者数(人)	951,126	892,156	765,656
直近年度比		93.8%	80.5%

課題2	施設管理に関する課題（必須）
広大な敷地と多種多様な施設を有しており、老朽化もあり管理に手間とコストを要する。また、一部の施設ではバリアフリー化が完了していない。	
解決策	長寿命化計画に基づき、適時に施設の更新・修繕を行う。
実施方法・実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づき、適時に施設の更新・修繕を行う。【スポ公・高尾山】 ・専門業者に意見を聞きながらの適正な芝の管理、総合競技場周辺の舗装更新、投てき場、多目的広場周辺のベンチ更新などを実施する。【スポーツ公園】 ・散策路（柵、階段、舗装等）の更新や、多目的トイレを設置する。【高尾山自然公園】